2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生化学系分野	分子代謝内分泌学特論Ⅰ・Ⅲ	金藤 秀明

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

分子代謝内分泌学の研究の意義を習得するため，糖尿病・肥満・高血圧・動脈硬化などの生活習慣病の分子メカニズムを十分に理解する。

授業到達目標

（1）病態栄養学の基本，糖質・脂質等エネルギーの食物における組成，吸収の仕組みや代謝機構を述べることができる。
（2）脂質の消化・吸収とリポ蛋白代謝の流れを踏まえ，先天性および後天性脂質代謝異常の成因・病態と分子機構を述べることができる。
（3）各種ホルモンの役割や生体恒常性維持におけるダイナミクスを正しく解釈したうえで，古典的内分泌腺や脂肪組織・血管内皮の異常に起因する各種疾患の成因・病態と分子機構を述べることができる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	月	15:00-16:00	金藤 秀明	講義	[抄読会]	糖尿病代謝内分泌学領域における，画期的発見，新しい話題，病態解析の進歩，治療法についての英文文献を中心に関連する論文を読解し簡単なレポートとしてまとめ，発表解説する。 [場所:７階カンファ室]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1）１年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1）１年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

レポート内容を確認して，不足している点などを説明・指導する。

教科書

ISBN-9784787820426，糖尿病専門医研修ガイドブック （改訂第９版），日本糖尿病学会，診断と治療社，2023

参考書

ISBN-9784787821577，内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医研修ガイドブック（初版），日本糖尿病学会、日本内分泌学会，診断と治療社，2023

準備学習（予習・復習等）

（1）講義の資料，文献などを次の講義までに読んでおくこと。
（2）事前に教科書や参考書で約１時間程度，該当箇所を予習しておく。
（3）講義後に約１時間程度，講義内容の復習を行うこと。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論，思考法を獲得する。

注意事項・メッセージ

大学院生としてしっかりと研究に取り組んでください。大学院中の経験は，将来的に臨床をする場合も研究をする場合も，とても役に立ちます。